



男女共同参画推進室ニュースレター

olive・heart

柳田 邦男講演会「あなたは人生にどんな答えを出すのか」



男女共同参画 全学研修会
「あなたは人生にどんな答えを出すのか」
～専門的職業人として生きるとは～

人生の答えはどうして出したらいいの？私たちは、ライフステージの中で、学業、就職、昇進、結婚、出産、子育て、病気、退職、親の介護や死等、日々様々な選択を迫られます。不安と立ち向かい、危機を乗り越え、人としていかに豊かに生きていくか、再生へのヒントを柳田邦男さんにうかがいます。

日時 平成24年12月6日(木)17:00～19:00
講師 柳田 邦男氏【ノンフィクション作家】
場所 医学部臨床講義棟2階講義室
対象 医学部及び希望する全学教職員、その他関係者
大学院生・学部生、医学部附属病院医療スタッフ
※講義後の発表は、希望する教職員等を中心とした対象とする研修会です。

講師紹介 柳田邦男氏
1936年熊本県鹿屋市生まれ。1964年、記者時代1972年に『マッハの巻』で第3回大宅急便ノンフィクション賞受賞。作家として、現代人の「いのちの危機」をテーマに、戦争、災害、事故、公害、病気などのドキュメント作品や評論を書き続けている。1995年ノンフィクションジャンルの確立への貢献と『戦争への道』が『子・孫の11日』の執筆に好影響。第43回菊池寛賞を受賞。医療事故、生と死、心の危機、言葉の危機、少年問題、子どもの絵本と読書、心の再生などについて積極的に発言。
最近の主な著書に『この国の失格の本質』『死の医学への告白』『緊急時救急の心』『心』の読みへ『うつ社会』脱出のために『言葉の力、生きる力』『人生の答えの出る方』『読者の心』など。子どもの絵本の創作にも力を入れ、『でも、わたしは生きていく』『だいじょうぶだよ、そっさん』など多数。雑誌『文芸春秋』で、がん医学を扱った長編小説『がん』『がんの医学への序』を刊行。がん医療の発展に貢献している。『がんの医学への序』を刊行。がん医療の発展に貢献している。

主催 香川大学男女共同参画推進室
共催 医学部臨床講義棟2階講義室

香川大学 男女共同参画推進室
香川大学医学部 1-1
2階 205号室
電話：087（832）1055
内線：1055
FAX：087（832）1057
電子メール：
sankaku@ao.kagawa-u.ac.jp
ホームページ：
<http://www.kagawa-u.ac.jp/sankaku/>

参加に希望の方はTELもしくはメールにて男女共同参画推進室までお申し込みください。

12月6日（木）17:00より男女共同参画全学研修会 柳田邦男講演会「あなたは人生にどんな答えを出すのか ～専門的職業人として生きるとは～」が医学部で開催されます。私たちは、ライフステージの中で様々な選択を迫られます。学業、就職、昇進、結婚、出産、子育て、病気、退職、親の介護や死等、突然やってくる大きな選択を前に、不安と立ち向かい、危機を乗り越え、人としていかに豊かに生きていくか、再生へのヒントを柳田氏にうかがいます。

ノンフィクション作家の柳田氏は医療事故、生と死、心の危機、言葉の危機、少年問題、子どもの絵本と読書、心の再生などについて積極的に発言されています。

日時：平成24年12月6日(木)17:00～19:00

場所：医学部臨床講義棟 2階講義室

【申込はこちら】

男女共同参画推進室

電話：087（832）1055

Eメール：sankaku-room@ao.kagawa-u.ac.jp



目次:

- 柳田邦男講演会案内 1
- WLB講演会報告 2
- デートDV防止研修会 3
- 女性医師の集い 3
- 合同評価セミナー 4
- 出前講座 4
- 休日出勤時の託児事業 4

RiJiカフェの成果 図書館のトイレがリニューアル！

9月末図書館のトイレがリニューアルされました。3月に開催したRiJiカフェの「理事への25のお願い」が契機となり、理事の皆さんが現状を考慮し、急きょリニューアルの運びとなりました。香川大学の学生・教職員だけでなく一般の方も来られる施設だけに、図書館が香川大学の顔になってくれるといいですね。

また、10月から男女共同参画図書コーナーに新しい図書が入りました。「いじめ」「虐待」「セクハラ」「人権」「子育て」等充実したラインナップ。男女共同参画ってなに？難しそう？なんて思わず、まずは1冊手に取ってみてください。貸出方法は他の図書と異なりますので、図書館窓口でお問い合わせください。



before



after

ワーク・ライフ・バランス講座「イクメンでいこう！」

【当日のアンケートより】

- ・ワークライフバランスの話というよりも人生を幸せにする話のように感じた。
- ・介護、育児を通じて自身の他者への接し方が変化したという点が非常に興味深かった。
- ・個人の努力や工夫だけでなく、周囲の理解や協力が不可欠だと強調していただいた点がありがたかった。
- ・将来は渥美さんのようなイクメンパパに旦那を育てたいと思います。
- ・家計と家庭を支える働く母として、少し気持ちが楽になりました。



最近、子どもとお風呂入ってますか？

今日こそ、早く帰ろう！！



9月26日（水）渥美由喜氏【(株)東レ経営研究所】を招きワーク・ライフ・バランス講座「イクメンでいこう！」が開催されました。講師は、2児のパパで育児・介護・仕事に奮闘する、パワフルパパです。男性30名、女性19名の方が渥美氏のイクメン話に耳を傾けました。

講師曰く、仕事の効率化を図ることで、モチベーションを上げることができる。上がったモチベーションのベクトルを育児・介護につなげることで、働く母親の手助けになる。実際にやってみる中で、手の出しようがわかるようになる。

共働きの働く女性は、外で仕事、家でも家事・育児・介護を抱えています。つらい部分をマイナスに考えるのではなく、「良かった探し」で楽しく乗り切る為に、働く父親が『イクメン』に変身する方法をともに考えてみませんか？

ちなみに10月19日は10（トオサン）19（イクジ）の日。イクメンとは「子育てを楽しむだけでなく、ママを幸せにできちゃうパパのこと！」そして、イクジもどんどん増えるといいですね。

★もっと知りたいワーク・ライフ・バランスのこと★（講演から）

渥美さんは、そもそも企業が取り組むべきWLBとは、価値観や取り組むか否かという選択の問題ではなく、社会システムの転換に先んじて「対応するか」、「後回しにするか」という問題であり、選択の余地はないと警鐘を鳴らします。そして、これからやってくる労働力人口の低下、介護ラッシュの社会では「総力戦」が重要であり、一人ひとりの労働者がイキイキ働ける職場を作らないと、経済活力の維持はできないと語られました。WLBはもはや個々の企業・団体の問題ではなく、社会全体の問題であり、社会全体として対策していくことが必要だと言えそうです。

育児については、ご自身の育児経験から、男性の育児参加は家庭生活が充実するだけでなく、ビジネスにおいても、父性愛の芽生えによる部下に対する接し方が変化、部下の業績UPといった好影響をもたらすとイクメンの波及効果を示してくれました。また、面白いデータ「女性の愛情曲線」というグラフを紹介してくれました。女性の愛情割合は独身の頃は仕事・趣味が多く、結婚初期は夫になりますが、子どもを授けると断トツで子どもになり、夫への愛情は大きく減退し、その後、子どもの加齢に従い二極化【回復組と低迷組】します。この二極化は“乳幼児期に一緒に育児をしたか、否か”つまり、夫がイクメンなら愛情は回復していくけど、そうでない場合、愛情は低迷していく傾向にあるということを示していました。さらに、家事を徹底してポイント制にするという家事を楽しむ具体的なヒントも教えていただきました。夫婦関係で大切にしていることは「基本はリスペクト（尊敬）」。

パートナー間で相互にリスペクトすることが、夫婦円満の秘訣であり、これからパートナーを選ぶ方はそれを基準にしてほしいと。

充実したイクメン生活を送っていた矢先、突然やってきたのは父親の介護でした。要介護の父親を抱えた渥美さんは当時の上司に泣きながら相談したそうです。『仕事よりも家族と一緒にいなさい』との上司の言葉に救われ、介護サービスを利用しながら夕方以降・週末介護という生活がスタートしました。父親の介護に加え、次に訪れたのは次男の闘病。会社員、子育て、家事、介護、看護という5Kライフの渥美さんが困難に立ち向かい、乗り越えてきた原動力は「良かった作り」でした。日常の良かった探しで、良かったことをノートに書きとめて、それを読み返していると、どんな問題が起きても問題は消滅していき、それだけでなくポジティブシンキングに繋がっていったそうです。

介護を理由に離職した人は、年間15万人、5年間で1.6倍になっています。私たちはいつか介護にかかわらなくてはならない、そんな日が来ると、うすうす感じていても日常や仕事に追われ、考えることを避けてはいないでしょうか。

「人生何が起きるかわからない。何か起きてから、働き方の見直しを進めても遅い、ワークライフバランスはリスクマネジメントであり、あとで後悔しない生き方である」と言う渥美さんの言葉は説得力があり、ずしりと重く響きます。

全学研修会 安心して働ける・学べる安全な環境作り

～デートDV防止研修会～

11月1日(木) デートDV防止研修会が開かれます。講師にNPO法人レジリエンスの中島幸子氏を迎え、大学生に起こりがちな恋人からの暴力、デートDVや性的な暴力について、具体的な事例をあげて、その予防と被害を受けた際の対応、被害を受けた時の心理的な影響、回復についてお話いただきます。デートDVの被害者の相談相手は友人であり、相談を受けた時の対応が重要になっています。

【支配があるかのチェックリスト】あなたはどうか？

- ☐ パートナーの言うことは絶対だ
 - ☐ 自分の希望をパートナーに伝えるのはとてもエネルギーがいる
 - ☐ パートナーが帰ってくると緊張する
 - ☐ パートナーを恐れている
 - ☐ パートナーがいる前で電話をしたくない
 - ☐ パートナーを待たせることはできないと思っている
 - ☐ 自分がどう感じるかよりもパートナーが怒らないかが基準になっている
 - ☐ 予定より遅く帰るなんてできないと思っている
 - ☐ パートナーの言動に意見できないと思っている
 - ☐ たとえ間違っていると思っても、パートナーに同調しなくてはならない
 - ☐ パートナーに自分の本音は絶対に言えない
 - ☐ パートナーが怒りだすと、なんとかなだめようとしてしまう
 - ☐ パートナーが機嫌が良い状態であるためにはどんなことでもすると思う
 - ☐ どんなに自分が楽しんでいてもパートナーの機嫌が悪くなるともう楽しむことはできない
 - ☐ パートナーのセックスの要求は断れないと感じている
 - ☐ 自分のほしいものでもパートナーが良い顔をしなければ買えない
- 「傷ついたあなたへ～わたしがわたしを大切にすること～DVトラウマからの回復のワークブック」レジリエンス刊 梨の木舎 より一部抜粋



【日時】平成24年11月1日(木)14:40～16:10 (4時限)

【場所】教育学部棟621教室 【対象】どなたでもご参加可能(一般公開)

講師の中島幸子氏は、DV被害にあった経験をきっかけに勉強を始め、米国にて法学博士号、ソーシャルワークの修士号を取得。各地で毎年多数の講演活動を行っていらっしゃいます。



第4回「女性医師の集い」が開催されました

9月28日第4回「女性医師の集い」が開催されました。これは医学部附属病院に勤務する女性医師の方々の貴重な情報交換の場です。ワーク・ライフ・バランス支援室の呼びかけで開催しています。診療のこと、キャリアアップの現状、各診療科の女性の参画状況など、顔を合わせ情報交換をすることで、女性医師のネットワークが広がっています。要望等も出し合いながら、最新の情報を共有する、子ども連れも大歓迎の居心地の良い会です。

男女共同参画推進室のコーディネーターも参加し、病児移送サービスなどの情報提供をしています。いちご保育園の病児保育施設は大変好評で、女性医師の皆さんも活用しているそうです。

子どもを連れて集まる参加者



これってDV?

Q..暴言を浴びせるのは?

A. DVです

Q.携帯電話のチェックは?

A. DVです

Q.過度の行動の束縛は?

A. DVです

Q.恋人同士でもありますか?

A..ひどい暴力に繋がります。

DVは身体的暴力、精神的暴力、性的暴力、経済的暴力など、様々な形態があります。被害者は周りの人に相談し辛く、被害が表に出にくいだけに深刻化してしまうことがあります。

相談対応のための
実技研修会同日開催
(スーパーバイズ)
教育学部812教室
16:10～18:00

興味のある方はご予約の上、ご参加ください。多数のご来場お待ちしております。

【申込】男女共同参画推進室
TEL:087 (832) 1055

Eメール:sankaku-room@ao.kagawa-u.ac.jp

いちご保育園の隣に
病児保育施設新設!



外部評価報告会開催

10月16日(火)、合同評価セミナーでいただいた外部評価をまとめ、学内の皆さんに向けて報告会を実施しました。



室員と学内参加者による報告会の様子

理系女子必見！

リケジョを応援する雑誌、その名も「Rikejo」。リケジョの先輩たちの活躍もたくさん掲載しています。



推進室にバックナンバーも取り揃えております。貸出OKですよ！



香川大学男女共同参画推進室

香川県高松市幸町1-1
北5号館1階

電話：087(832)1055
内線：1055
FAX：087(832)1057
電子メール：
sankaku-room@ao.kagawa-u.ac.jp
ホームページ：
<http://www.kagawa-u.ac.jp/sankaku/>

9月12日 合同評価セミナーを行いました

9月12日(水)四国地域女性研究者支援モデル育成事業採択大学合同評価セミナー「支援継続にむけて、今」が開催されました。このセミナーは両立支援の継続とさらなる男女共同参画の推進に向けて、事業の成果をまとめ、効率的な事業を精査しました。他大学より日本女子大学名誉教授 小舘香椎子氏、宮崎大学 伊達紫氏、広島大学 坂田桐子氏、愛媛大学 壽卓三氏・郡司島宏美氏を迎え、香川大学の男女共同参画の取組、今後の継続について、活発な意見交換を行いました。



香川大学独自の取組への評価も高く、学内から参加された教職員の皆様の推進室への継続の思いも伝わりました。小舘香椎子氏からまとめのご講演をいただきました。伺った女性研究者の現状・課題など今後の取組に役立てて行こうと思います。

次世代育成プロジェクト出前講座 高松一高に行きます

去年好評だった高松一高出前講座、今年も行きます！進路を考える女子高校生に理系進路選択の魅力を伝え、理系女子を応援するべく行われたこの出前講座。イキイキと活躍する女性研究者に会い、理系女子の明るい未来を切り開いて欲しい、そんな思いが詰まっている講座です。



日時：平成24年11月16日(金)15:45～17:45

★昨年の様子★

～昨年度の感想から～（一部抜粋）

- 大学のこと、工学部のことがよく分かった。理系の女子ってどうなんだろう？と少し不安だったけど、今回の講座で大分見方が変わった。良かったです。
- 女性の理系の人の話を聞くいい機会になったと思います。工学部も幅が広いなあと思った。女性ならではの部分が聞けてよかったと思う。
- 研究職というのは今まで大学の研究室というイメージしかなかったけど、企業の中で活やくする研究者も多いことがわかり、参考になりました。
- 大学だけでなく、社会全体への関心が広がりました。すごくわかりやすく良かったです。

休日出勤時の託児事業 今年も始まります！！

男女共同参画推進室では、本年度も大学運営特別経費を活用し、休日の託児を実施します。申し込み締め切りは下記のとおりになっておりますので、ご注意ください。

	実施行事	会場	お預かり時間	申込締切
3	幸町・工・農学祭 11/3(土)	幸町キャンパス 男女共同参画推進室	8:30～17:00 希望時間帯の預かり	10/22 (月)
4	幸町学祭 11/4(日)	幸町キャンパス 男女共同参画推進室	8:30～17:00	
6	推薦入試 11/23(金)	幸町キャンパス 男女共同参画推進室	8:30～18:30	11/12(月)
5	推薦入試 11/24(土)	幸町キャンパス 男女共同参画推進室	8:30～18:30	11/12(月)
6	センター試験 1/19(土)	宗教法人薬王寺 経済学部 東向い	7:30～19:00	12/25(火)
7	センター試験 1/20(日)			

締切間近！

ボランティア

あゆみ協力

